（別添資料）

事業所名　JINIOR LINE 支援プログラム　作成日　　R8 年　　6 月　1 日

理念		保育士、児童指導員等の専門職がそれぞれの強みを活かし、お子様一人ひとりに最適なプログラムの立案・実施を目指します。ご家庭での悩みや不安を伺い、共に考えながら、解決と成長に向けたサポートを行います。		
支援方針		多職種が連携し、一人ひとりの発達や特性、興味・関心に寄り添った支援を大切にします。専門性を活かした個別支援を中心に、家庭や学校等と連携し、生活上の困りごとの軽減と本人の主体性、自立に向けた力を育みます。		
営業時間		8 時 30 分から　　17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり　　(なし)
支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	生活リズムや健康状態に配慮し、安心して過ごせる環境を整えます。身の回りのことや持ち物の管理、活動の準備・片付け等を通して、発達段階に応じた生活習慣や自己管理の力を育みます。		
	運動・感覚	感覚統合の視点を取り入れ、遊びや運動を通して身体の使い方、姿勢、手指の操作等を支援します。感覚特性に応じた環境調整を行い、学校や家庭での活動に参加しやすくなるよう支援します。		
	認知・行動	本人の興味や理解に合わせた課題を設定し、注意・記憶・思考・学習の基礎となる力を育みます。視覚的な手がかり等を用いて見通しを持ち、自己選択や自己決定、気持ちや行動の調整ができるよう支援します。		
	言語 コミュニケーション	言語聴覚士による評価をもとに、ことばの理解・表出、発音、読み書き等について必要な支援を行います。自分の気持ちや考えを伝える、相手の話を理解する、困ったときに援助を求めるなど、生活に必要なコミュニケーション能力を育みます。		
	人間関係 社会性	安心できる関係の中で自己肯定感を育み、遊びや活動を通して順番、ルール、相手の気持ちや立場への理解を支援します。本人の特性を尊重し、自分らしく他者と関わり、学校や地域での生活に参加できるよう支援します。		
家族支援		支援内容やお子様の様子を共有し、家庭や学校生活での困りごとについて共に考えます。相談や具体的な関わり方の提案を通して、保護者の不安や負担の軽減を図ります。	移行支援	学校や地域での生活への参加を支援し、進級・進学等に伴う環境の変化に備えます。本人の強みや必要な配慮を関係機関と共有し、将来の自立や社会参加につなげます。
地域支援・地域連携		学校、相談支援事業所、医療機関、行政等と連携し、本人や家族の同意のもと必要な情報を共有します。関係機関と協力し、生活場面に応じた一貫性のある支援を目指します。	職員の質の向上	発達特性や評価、支援方法に関する研修への参加、事例検討、職員間の情報共有を通して専門性を高め、支援内容の振り返りと改善に努めます。
主な行事等		季節に応じた遊びや制作等を、本人の興味や発達段階に合わせて取り入れ、楽しみながら生活経験や社会性を広げる機会とします。		